

PHU-3 制御仕様

PHU-3 専用制御コマンドリファレンス (Windows 用)

専用制御コマンドを利用する事で、アプリケーションから簡単に PHU 型を制御する事ができます。

基本コマンド例

制御時 `phu_alert_(port #)_[option]_(command)`

全消灯時 `phu_clear_(port #)_[option]`

状態確認時 `phu_status_(port #)`

コマンドを事前に bat ファイル化する事で手軽に制御が行えます【_はスペース（空白）です】

(port #) PHU 型が認識されている USB ポート番号を入力します。
デバイスマネージャ等で事前に認識ポート番号を確認してください

(command) 数字 4 桁で構成され、左から **赤黄緑青** の順に色の桁があります。
0 は消灯、1 は点灯、9 は変化なし（前回と同じ）を意味します。
例

1000 は赤点灯、他は消灯

9110 は赤の状態を保持して、黄・緑を点灯

0001 は青のみ点灯、それ以外は全て消灯

[option] オプションコマンドは、必須項目ではありません。

[-w] コマンド実行時に再生させたい wav ファイルをパスで指定します。

[-m] コマンド実行時に pop アップさせたい文字メッセージを入力します。

[-wr] pop アップ画面の「OK」を押すまで、wav 再生をリピートします。
[-m] コマンドと同時で利用が可能です。

上記コマンド以外で PHU 型を制御する場合は、以下の理論仕様に基づく制御プログラムが必要です

●理論仕様

動作状態	ビットデータ
赤色のみ点灯	00000001
黄色のみ点灯	00000010
緑色のみ点灯	00000100
青色のみ点灯	00001000
赤色・黄色点灯、緑色・青色消灯	00000011
赤色・緑色点灯、黄色・青色消灯	00000101
黄色・緑色点灯、赤色・青色消灯	00000110
黄色・青色点灯、赤色・緑色消灯	00001010
全段点灯	00001111
全段消灯	00000000

●転送モード

バルク転送

●データエラー検出基準

CRC(Cyolic redundancy check)による

●標準リクエスト

- CLEAR_FUTURE
- GET_CONFIGURATION
- GET_DESCRIPTION
- GET_INTERFACE
- GET_STATUS
- SET_ADDRESS
- SET_CONFIGURATION
- SET_DESCRIPTION
- SET_FUTURE
- SET_INTERFACE
- SYNCH_FRAME

●パケットコマンド

- トークンパケット (SOF, SETUP, OUT, IN)
- データパケット
- ハンドシェイクパケット

物理的に LED ユニットの無い色は、コマンドを実行しても制御できません
制御プログラムの作成は専門的な知識が必要な場合がございます